

市民のひろば

災害時の緊急物資の輸送協定を締結 公益社団法人熊本県トラック協会

3月25日、菊池地域4市町が合同で、公益社団法人熊本県トラック協会と、災害発生時における物資などの緊急輸送に関する協定を締結しました。

協定には、災害などの際に、自治体の対応が困難な生活用品など緊急物資の輸送を最優先に行なうことなどが盛り込まれています。同協会の岩下会長は「住民の皆さんが安心して生活できるよう自治体と連携協力して万全の体制を構築します」とあいさつしました。



災害時に備えて協力体制を整えます

横断旗など交通指導用品を寄贈 市企業等連絡協議会

3月25日、市企業等連絡協議会（松本繁会長）が、大津地区交通安全協会合志市支部へ横断旗80本、のぼり旗30セットの交通指導用品を寄贈しました。

寄贈を受けた同支部の森下支部長は、「交通指導をする際に非常に助かる。今後も地域の安全安心のためにがんばりたい」と感謝の意を述べました。

寄贈品は、子どもたちの登下校時など地域の交通安全活動に役立てられます。

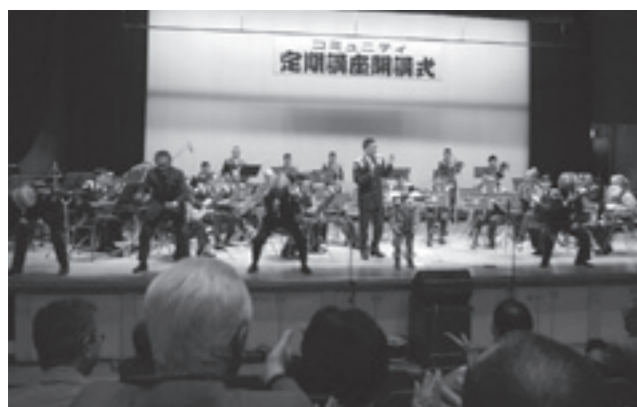


森下支部長（中央）へ松本会長（右）から横断旗などが手渡されました

コミュニティ定期講座 合同開講式

4月4日、御代志市民センターで須屋・黒石・中央・野々島・合生の各コミュニティで開催される定期講座の合同開校式があり、約150講座の講師とその講座生約600人が参加しました。

合志吹奏楽団響の大久保稔さん（堀川）が講師代表、表千家茶道教室の中島洋美さん（中尾）が講座生代表としてあいさつ。また、ゲスト出演した陸上自衛隊第8音楽隊の演奏では、会場が大きく盛り上がりました。



陸上自衛隊第8音楽隊の演奏に大きな拍手が贈られました

地域の環境を保護 三菱電機株式会社などが清掃活動

3月28日、三菱電機株式会社パワーデバイス製作所熊本事業所と関連企業の従業員129人が、上生川川敷の除草と地域のごみ拾いを行ないました。

この活動は、地域の環境保護のために30年以上毎年実施されています。

同社は県の環境保全協会に加入し、本市とも環境保護・清掃活動に関する協定を結ぶなど、地域貢献への積極的な取り組みを行なっています。



関連各社が協力し地域の環境保全に努めています

人権擁護委員制度をご存知ですか 6月1日は、人権擁護委員法が施行された日です

人権擁護委員は、市民の皆さんの人権が侵されないよう見守り、人権が侵されたときに相談相手になるなど、私たちの間に正しい人権の考え方を広める活動をしています。

また、人権が尊重される社会を実現するため、法務省と全国人権擁護委員連合会では、啓発活動の重点目標を「みんなで築こう 人権の世紀」考えよう相手の気持ち 育てよう 思いやりの心」と定め、積極的な啓発活動を展開しています。

市には、市長から推薦され、法務大臣が委嘱した人権擁護委員が9人います。

- 市人権擁護委員
- 坂井眞壽子（若原）
 - 上村 久枝（北）
 - 桑原 典恵（杉並台）
 - 上田 一男（東）
 - 中村十九男（須屋）
 - 中島 守（鹿水）
 - 池頭由美子（栄温泉団地）
 - 長尾 隆（新開）
 - 澤田日出夫（二子）

平成27年度
市特設人権相談所開設
●とき

6月2日（火）、9月9日（水）
12月7日（月）

平成28年2月5日（金）
午前10時～午後3時

●ところ

泉ヶ丘市民センター、ふれあい館
※気軽に相談ください。相談は無料で秘密は守られます。

●問い合わせ先

人権啓発教育課

（御代志市民センター）

☎（242）1190



人権イメージキャラクター
人KEN まもる君 人KEN あゆみちゃん

素敵な人生 素敵な。パートナー



市男女共同参画
推進懇話会委員
森 理恵子

私は、市女性連絡協議会「まちなつとセラヴィ」の一員として男女共同参画懇話会に参加しています。セラヴィは本市を盛り上げるためにさまざまな活動を行っています。会員となって7年目ですが、先輩方の女性ならではの心遣いや、皆さんに喜んでもらうとうと骨身を惜しまず活動される姿にいつも感心させられます。

男性と女性では、身体も脳の仕組みも違うので、何もかも男女平等というわけにはいきません。しかし、お互いの違いを認め合い、特性を生かして協力することで、それぞれの力を遺憾なく発揮することが出来ます。

最近はいクメン（育児をする男性）、カジダン（家事をする男性）も増えてきているようですが、女性の社会進出と同様に、男性が家庭に時間を費やすのもかなり難しくそうです。

先日友人が「息子が育児休暇を取ったら、上司からあからさまな嫌がらせを受けて困っている」と嘆いていました。

女性に社会的活動を求められる今、男性の協力なしには実現できません。また、子どもが保育所に入らず、仕事をしなくても働けない女性もいます。これらは当事者だけの問題ではなく、社会全体のバックアップが必要です。そのためにも、この男女共同参画の考えを皆が理解し、実現できる世の中にしていかねばならないと思います。